

# 仙台版・いきいき教員づくり～仙台市の求められる教員の姿～

	初任～5年経験(育成期)	6～15年経験(向上期)	16年以上経験(充実・発展期)	
教員としての基盤	教育公務員としての自覚と教職への誇りをもち、謙虚な姿勢でその専門性の向上と社会人としての教養の修養に努める先生	謙虚な姿勢でその専門性の向上と社会人としての教養の修養に努める先生	教育者として豊かな経験に裏打ちされた高い見識と熱き情熱を持ち、その専門性及び人間性の更なる磨きに努める先生	
学校運営力	授業に関する基礎・基本を習得し、熱く子どもと活動できる先生	PDS Iサイクルを活用し、自己の組織貢献力の向上に努めつつ、校内の先生方と連携しながら着実に業務を遂行する先生	授業に関する専門性を一層向上させ、模範的授業を自ら実践したり、校内の先生方の指導助言をしたり、しつとりと子どもに寄り添う先生	
実践的指導力	校内の先生の助言を受けながら、組織の一員として誠実に業務を遂行する先生	授業に関する専門性を一層向上させ、模範的授業を自ら実践したり、校内の先生方の指導助言をしたり、しつとりと子どもに寄り添う先生	校内の先生方の気持ちや立場を理解し、組織全体について幅広く見渡す心と知見を持って業務を遂行し、後進の育成に当たる先生	
教員としての基盤	使命感、情熱	常に児童生徒のより良い成長を目指し、教職への誇りを持って教育活動に当たる。	常に児童生徒のより良い成長を目指して、教職への誇りと高潔な教育理念を持って教育活動に当たる。	
	高い倫理観	教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行する。	教育公務員として法令を意識し遵守の気運をつくり、誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。	
	人間的な魅力 社会性、識見 向上心	広い教養を備え、児童生徒や保護者、職員から信頼される人間的魅力を身に付ける。 保護者、地域の声に耳を傾け、良好な関係を築き、的確な判断のもと協働的に関わる。 広く研修に努め、より優れたものを目指し、他人の意見を謙虚に受け止め学び続ける。	豊かな経験に裏打ちされた高い識見を持ち、専門性・人間性を磨き、深い人間的魅力を身に付ける。 学校への社会の要請を自覚し、高い識見を持って家庭・地域との協働をリードする。 常に教師としての在り方を求めながら自己研鑽に努め、教職員の範となる。	
実践的指導力	授業力 ①授業構想	① 学習指導要領解説を理解し、学びの系統を踏まえる。 ② 目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を把握する。 ③ 教材研究の大切さを理解し、積極的に取り組む。	① 小・中9年間の学びの系統を踏まえて単元を構想する。 ② 目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を的確に把握する。 ③ 児童生徒の実態や地域の特色を生かした教材開発に取り組む。	① 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程づくりを推進する。 ② 児童生徒の実態を的確に把握し、個を生かした授業を構想する。 ③ 単元開発を行い、授業づくりに関する専門性を高める。
	授業力 ②授業実践	① 教材研究により児童生徒の興味・関心や学習意欲を引き出す指導を行う。 ② しっかり考えを聞き合う学習習慣を確立し、本時の目標に迫る授業を行う。 ③ 基本的な指導技術や場に適した指導形態等を理解し、指導内容が身に付くようにする。	① 児童生徒の興味・関心や意欲を高める指導を行う。 ② しっかり考えて聞き合う学習習慣を確立させ、本時(単元)の目標に迫る授業を行う。 ③ 指導技術や指導形態等を工夫し、適切に指導する。	① 児童生徒が主体的に学び合う集団づくりを行う。 ② 児童生徒自身が目標を意識し、互いの考えを学び合う学習習慣を確立する。 ③ 目的や内容に応じて指導技術や指導形態を使い分け、効果的な指導をする。
	授業力③授業 評価、改善	① 指導と評価の一体化について理解し、評価規準を設定・計画する。 ② 計画に従って児童・生徒の学習状況を把握し、次時の指導に生かす。 ③ 信頼性のある評価を目指し、児童生徒の意欲を喚起する。併せて保護者への説明を適切に行う。	① 児童生徒の姿を具体的に想定して評価規準を設定・計画する。 ② 計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、指導に生かす。 ③ 信頼性のある評価を目指し、児童生徒の意欲を喚起するよう指導を改善する。併せて、保護者に適切に説明する。	① 指導と評価について全体計画を立て、計画に従って実践する。 ② 指導と評価の一体化について適切に指導助言を行う。 ③ 信頼性のある評価を目指し全体計画を見直す。
	授業研究	校内で進んで研究授業を行い、他の教職員の指導助言を受け、授業を改善する。	校内、市教研などの研究授業を積極的に行い、授業力を向上させる。	専門性を生かして授業研究会での指導・助言を進んで行う。
	学力向上プラン作成、実践	児童生徒の実態を把握し、個々に見合う学力向上プランを計画・実施する。	児童生徒の実態を把握し、個々に見合う学力向上プランを計画・実施する。	経年変化や全国・市全体の傾向を視野に入れ、自校の学力向上プランを組織的に展開する。
	情報活用、発信 (ICT活用)	ICT活用について基礎的な知識・技能を身に付け、効果的に授業や業務に生かす。	保護者、地域、関係機関との連絡・調整を適切に行い、必要な情報を提供する。	保護者、地域、関係機関等、様々な人と協働し、広く情報収集をしたり適切に情報発信をしたりする。
	自分づくり教育 推進授業評価、改善	自分づくり教育の趣旨を理解し、児童生徒に適切な指導を行う。	自校の実態に応じた自分づくり教育(進路指導含む)の全体計画を作成・活用し、個性や能力を伸ばす指導を行う。	自校の実態に応じた自分づくり教育(進路指導含む)の全体計画を作成・活用し、個性や能力を伸ばす指導を行う。
	学級経営	児童生徒理解に基づく学級経営を行い、より良い学びの環境をつくる。	児童生徒理解に基づく学級経営を推進し、児童生徒同士のコミュニケーションを促進し望ましい集団をつくる。	共感や相互受容を大切にしながら学級経営を充実させ、より望ましい集団をつくる。
	生徒指導	直面する問題や課題に気づき、先輩教員等に相談しながら課題を解決する。	直面する生徒指導上の課題や問題について、校内の教員と報告・連絡・相談を行いながら自分で解決する。	全体計画を作成したり、自校の生徒指導上の課題解決に向け、具体的な方策を提案したりする。
	児童生徒理解	自分の受け持つ児童生徒の実態を把握し、伸ばすべき個性と能力を見付ける。	自校の児童生徒の実態を把握し、個性や能力を伸ばす指導を行う。	自校の児童生徒を深く理解し、愛情を持って接することができる。
同僚・仲間 の参画	コミュニケーション	対人関係をより円滑にできるコミュニケーション能力の基礎を身に付け、分かりやすく納得を得られるような説明を行ったり、相手の考えを聞き取り自分の考えをきちんと伝えたりする。	相手の考えや意見、立場を尊重して受容するとともに、自分の立場(学年や校務分掌等)や組織を意識した建設的な考えや意見を持ち、論理的コミュニケーションを図る。	相手の立場を理解し共感的・受容的な態度で考えや意見を傾聴する。組織の一員としての役割を考えた上で、自分の意見を伝え、他の教員とコミュニケーションを図る。
	柔軟な対応	相手の話を傾聴し、誠実に接する。	相手の話を傾聴し、相手の立場や心情の理解に努める。	経験を生かしたり、課題解決に必要な情報や技術を自ら求めたりすることで、物事に柔軟に対応できるようにする。
	人間関係性構築	児童生徒・保護者・地域との信頼関係を築くために、積極的に活動する。	児童生徒・保護者・地域の人々との信頼関係を構築するために、それぞれの思いを受け止めるとともに、情報提供や自身の考えを示し誠意を持って活動する。	児童生徒・保護者・地域の人々の思いを学校の諸活動に反映させていくための施策や方法の工夫改善を図りながら、誠意を持って職務を遂行する。
	職員間の円滑 交流、意思疎通	「報告・連絡・相談」の機能とその方法について理解し、問題解決に向け積極的に職員間交流を行う。(一人で抱え込まない)	職員間の情報共有の場の設定を積極的に行い、後進のよき相談相手とし活発な職員間交流を行う。(相談しやすい雰囲気づくり)	他の教員の立場を理解し、経験等を活かした指導・助言を積極的に行う。また、管理職や他学年・他教科及び職種異なる職員とのパイプ役としてつながりを密にした誠実な職員間交流を行う。
	校務の遂行、組織への参画	校務分掌の業務内容を理解し、組織の一員として職務遂行に努める。	校務分掌の遂行に努め、より効率的な職務遂行の手だての工夫改善を図る。	積極的に職務の効率化を図り、組織全体を俯瞰した具体的な策を打ち出し、業務改善を推進する。
	連携、折衝、調整	指導・助言を受けながら、職務に誠実に努める。	学年及び上司と連携しながら、計画的かつ的確に連絡や折衝等に努める。また、事務処理を適切かつ迅速に行う。	上司への報告・連絡を適切に行いながら、それらに係る事務処理を工夫改善し迅速に行う。
	自己研鑽 (PDS Iサイクルを生かす)	教員評価の流れや留意点を理解し、主体的に参加する。	目標設定や評価結果のフィードバック等に留意し、PDS Iサイクルによる資質能力の向上に生かす。	効果的なPDS Iサイクルの在り方や自己研鑽の在り方について、理解を深めるとともに、振り返り効果的なシートを示すなどリーダーシップを発揮する。
	自己管理	教育公務員としての自覚及び一教員としての自覚を常に持ち、自己確認を行いながら行動する。	キャリアステージから見て必要な自己研鑽を積み、教育公務員として果たすべき役割についての認識を持って行動する。	後進の育成を担う立場として、自身の専門性及び教育公務員として果たすべき役割等について認識を持って行動する。
	危機管理	校内における事故防止と安全対策をよく理解するとともに、自身の役割を理解しすぐに対応できるように備える。	事故防止と安全対策をよく理解した上で、場面や状況に応じた対応について、学年等でシミュレーションを行うなど対応に備える。	校内における事故防止と安全対策について、日頃から危機意識を持って工夫改善に努める。場面や状況に応じた対応について率先して研修を行う。
	健康管理	心身の状態把握について理解し、生活リズムの安定と健康保持に努める。	心身の変調や体調管理についての理解と、心身の健康保持のための方法等について深め、後進の相談役となり助言を行う。	自己の心身の状態把握のみならず、教職員の健康把握にも努め、上司と相談しながら、職場の健康保持のための実践に努める。
マネジメント	教育課程	教育目標達成や目指す児童生徒像の具現化のため指導計画を立案し、授業・単元・カリキュラム等のPDS Iを意識して取り組む。	教育目標達成のため、全体指導計画に基づいて、単元構成や単位時間の指導計画と評価計画を立案して実践する。また、改善の視点を明確に持ち、年間指導計画の見直しや改善に積極的に関わる。	教育目標達成のための全体指導計画及び単元指導計画・評価計画の立案と実施に向けて、リーダーシップを発揮し、工夫改善されたカリキュラムづくりに努める。
	組織	教育公務員として、また、学校組織の一員として、自覚を持って協働していくことの意味を理解するとともに、自己の役割を認識し、積極的に職務に取り組む。	自校の課題やより良い教育活動を展開する方策について、組織から見つめ直し、具体的な改善策等を講じるとともに教職員と協働して推進を図る。	地域・保護者等の願いや児童生徒の実態等の情報収集を行い、組織を構成するメンバーや上司と協議しながら、学校の課題解決及びより良い教育活動の展開に努める。
	ネットワーク 地域	校務分掌に関わる情報収集と校内でのネットワークづくりに努める。	校区及び地域内の人や施設等の情報を的確に把握し、その活用に向けて積極的に計画を立てて実践する。	より良い教育活動展開のための人や施設等の情報を把握し、これまでの経験や実践(社会教育関係含む)を生かしたネットワークづくりに努め、自校の学校教育活動に反映させる。
	人材育成 (人づくり)	初任層同士で教育活動や指導力向上に向けた情報交換を積極的に行い、切磋琢磨できるネットワークをつくる。5年目には初任の良きモデルとして後進の育成に関わる。	得意分野において研究や授業を公開する。情報交換の場を設け、切磋琢磨できる雰囲気づくりに努め、後進の育成に関わる。	実践と研究に基づき工夫改善された授業や研究の成果を広く公開するとともに、若手が研修できる場の設定や切磋琢磨できる職場の雰囲気づくりに積極的に行い、学校全体を視野に入れた人材の育成に努める。